

令和元年度

第5回神崎市地域公共交通会議・第5回神崎市地域公共交通活性化協議会

○開催日時 令和2年2月12日(水) 10時00分～11時30分

○開催場所 神崎市役所 3-3会議室

○出席者

(委員) 吉村清嗣(区長会)・牛島孝一(区長会)・坂井和美(区長会)・吉原俊樹(神埼町住民代表)・佐藤悦子(千代田町住民代表)・實松英治(脊振町住民代表)・小山淳也(ジョイックス交通)・中村昭久(西鉄バス)・黒田正直(昭和自動車)・江上康男(県バスタクシー協会)・三木孝志、(佐賀運輸支局)・杉野朗(東部土木事務所長)・綿谷大樹(神埼警察署)・石崎伸二(佐賀県地域交流部さが創生推進課)・前山晴彦(産業建設部理事)・中島勝利(総務企画部企画調整担当理事)

計16名出席

(事務局) 實松義雄・篠木大輔・日本工営(株)高峯・中江

○傍聴人 なし

○会議次第

1 開会

2 議題

- (1) 三瀬・神埼線路線バスの再編について
- (2) 脊振町通学バスの再編について
- (3) 神崎市地域公共交通網形成計画について

3 閉会

※ 上記の会議録の内容は別紙のとおり

会 議 録**1 開 会**

事務局 総委員 20 名中 16 名の出席により、交通会議設置要綱第 6 条第 2 項並びに法定協議会規定第 8 条第 2 項により委員本会議が成立していることを報告。
交通会議設置要綱第 5 条第 2 項並びに法定協議会規定第 5 条第 2 項により企画調整担当理事が会長となる。
交通会議設置要綱第 6 条第 1 項並びに法定協議会規定第 8 条第 1 項により会長が議長となる。

2 議 題**(1) 三瀬・神埼線路線バスの再編について**

議 長 事務局に説明を求める。

事務局 説明

議 長 質疑を求める。

委 員 JR や西鉄バスへの乗継ぎについては、神崎市、佐賀市、佐賀県で実施した乗降調査等の結果をもとに、特に高校等への通学や通勤時間に配慮したダイヤ案を作成している。

議 長 JR や西鉄バスの運行ダイヤとの整合については、事務局が関係機関等と協議を行い、整理をお願いします。

三瀬・神埼線路線バスについては、2 月 14 日に開催予定の佐賀県地域公共交通活性化協議会で議題となり、承認を得られれば国土交通省に運行計画等を提出する流れとなりますが、本会議では県の協議会に議題として提出することについて事務局より承認を求められております。

議 長 挙手により承認を求める。⇒承認される。

(2) 脊振町通学バスの再編について

議 長 事務局に説明を求める。

事務局 説明

議 長 質疑を求める。

委 員 デマンドタクシーの件で、デマンドという言葉の説明が難しいと思うので、愛称を決めるなど分かりやすくする方法を検討いただきたい。また、広滝が拠点となる予定だが、バス停には屋根やベンチ等がないので設置を検討いただきたい。

事務局 デマンドタクシーについては、明日2月13日に脊振地区の住民を対象に愛称募集のチラシを配布予定となっており、募集期間は3月12日までの期間で、結果をまとめて脊振町公共交通検討会議で選定する予定です。
待合環境の整備については、現在広滝バス停利用者は近くにあるふれあい館の軒先に設置されているベンチを利用してもらっていますが、今後は脊振町複合施設の完成も予定されており、拠点となるバス停の位置も含めて待合環境の整備を検討したいと考えております。

委 員 地域の公共交通について、もちろんあった方がよいとは思いますが、実際どれぐらいの利用があるのか、始めたは良いが利用者は少ないとなることを懸念している。地域公共交通のニーズや住民への利用の呼びかけ等が必要である。脊振地区は山間部でもあり必要性は分かるが神埼町や千代田町も含めた検討が必要だと考えている。

事務局 利用状況やニーズの把握については、事前に状況調査等も行っていますが、4月の再編以降も利用状況やニーズの把握は必要であると考えており、更なる利便性や利用啓発も検討させていただきたいと考えております。
また、4月からの運行内容については、神埼、千代田、脊振それぞれで説明会を予定しており、ルートや料金、利用方法などの説明を行うほか、今後も運行を継続していくためには地域住民の利用が必要であることもお知らせしたいと考えております。

議 長 脊振町の交通検討会議で、自分たちがまず利用しなければならないという旨の話は聞いています。4月以降にどれぐらいの利用があるかも含め検討をしていく必要があると思います。

委員 脊振は夏場に風水害の発生、土砂災害の発生が最近多発しており、危険度が高くなっています。冬場の積雪も大変な状況にあります。こうした時に、道路状況も十分に確認する必要があるので、現場を確認しながら運行を休止するなど適切な判断を検討いただきたい。

事務局 事業者と市の連絡体制、市から地域住民への連絡体制など、災害時等に迅速に対応できるように調整、検討を進めたいと考えております。

委員 千代田町にも交通空白地があり、免許返納を考える高齢者の存在もあります。そうした中で、デマンドタクシーには関心を持っており、脊振の状況を見守りたいと思います。

デマンドタクシー利用には事前登録が必要が必要とのことですが、例えば登録者に同行する人など登録していない人は利用出来るのか。

また、最近の異常気象で自然災害の発生も多い。警戒レベル3で運休とするのか、警戒レベル4で決定するのか、公共交通を利用して避難する方法も考えられるので、非常時の公共交通の活用方法などについても整理してはどうかと思う。

事務局 利用者については、基本的には事前登録いただいた脊振地区の住民の方を対象とさせていただいておりますが、今後の利用状況等を踏まえ、利用対象者の拡大も検討させていただきたいと考えております。

災害発生時等の避難のための移動手段としての公共交通の利用については、防災担当部署や福祉担当部署との連携を図りながら対応を検討させていただきたいと考えております。

委員 脊振地区では、場所によっては携帯電話の電波が入らないところもあります。早い段階での避難周知も必要だと考えます。

議長 巡回バスについては、積雪での運行休止の場合は前日にお知らせをするように対応しております。

議長 挙手により承認を求める。⇒承認される。

(3) 神崎市地域公共交通網形成計画について

議 長 事務局に説明を求める。

事務局 説明

議 長 質疑を求める。

委 員 バスの待合環境整備について、個人の土地の場合は、持ち主の了解を得た上でベンチや屋根を設置されていると思うが、その都度了解を得るのも大変だと思う。昔のバス停近くには個店があり、コミュニティなど拠り所の機能があったと思う。全てのバス停は無理かもしれないが、地域で掃除をしたり、花壇を作ったり、地域主体でバス停環境を整備すればわざわざバス停用の土地を確保する必要もないのではと思うので、そういった仕掛け作り、雰囲気づくりをお願いできないか、自分たちの地域公共交通として利用していくための親しみのある場所などの仕掛けもあってよいのではと考えます。

委 員 地域の現状と課題として、交通空白地の問題がありますが、自家用有償運送などの活用でNPO法人などが地域公共交通を行っているような話も聞いています。制度や社会状況が変化していく中で、その地域にあった地域公共交通のすがたも変わってくると思う。合併前の脊振地域は2,000人近くが住んでいたが、現在は当時から500人位減っている。地域で生活できる環境が整っていなければ人口流出につながるので、新しい庁舎の完成が予定されている中、庁舎を中心としたまちづくりの中で地域の公共交通も維持していく必要があると考えます。

議 長 今回ご意見いただいたことを踏まえ、今後はパブリックコメントを実施する予定です。その結果について、再度会議を開催させていただき、委員の皆様のご意見も含め、計画策定を進めるよう、事務局は進めて下さい。

閉会